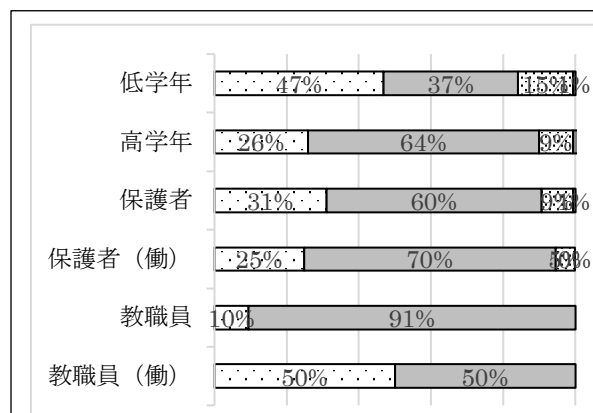
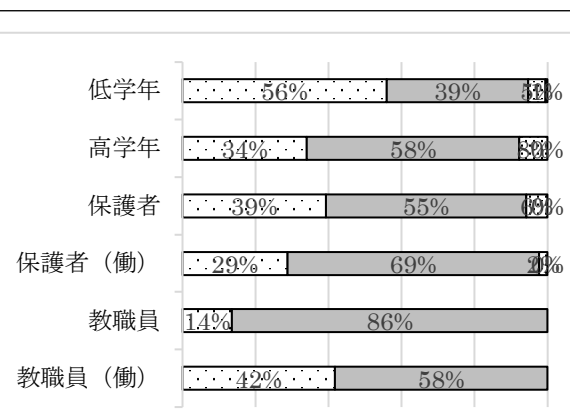


【豊かな心】

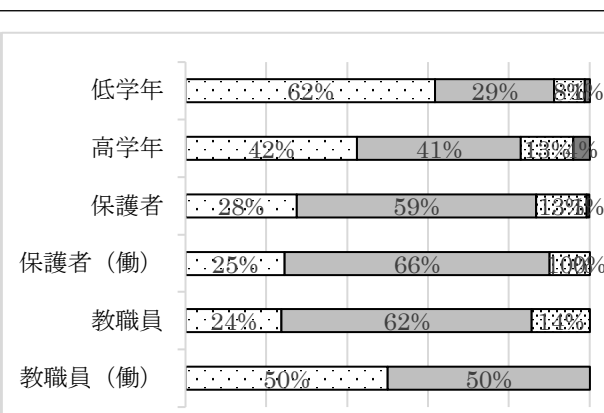
子どもは自分で良い、悪いを判断して、
その考えで行動している



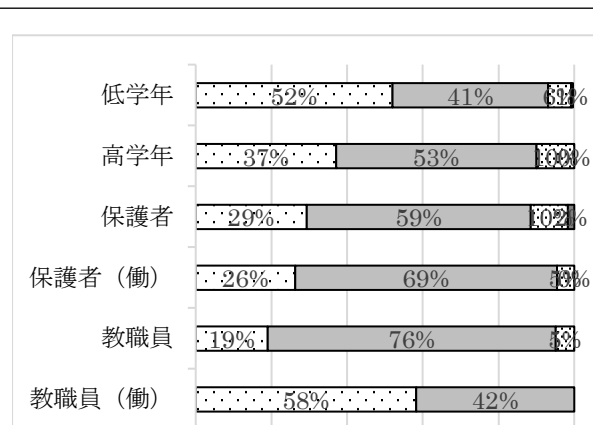
子どもはいろいろなきまりや
ルールを守っている



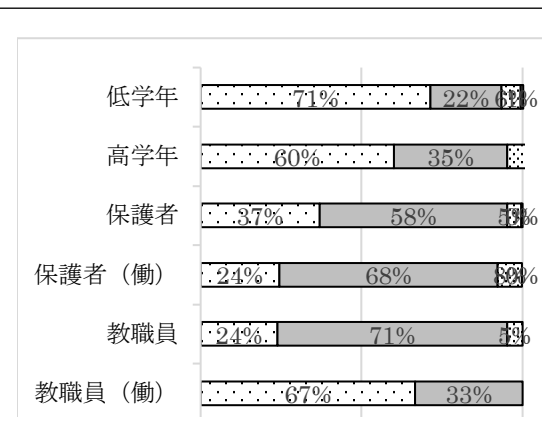
子どもは自分に良いところがあると思っている



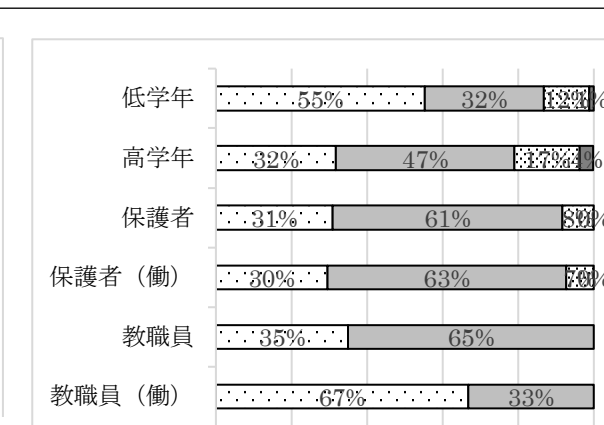
子どもは他の人の気持ちや立場を
考えて行動している



子どもは友達を大切にし、
誰とでも仲良くしている



子どもは自分の身の回り
いじめが起こらないように努力している



【豊かな心】について、昨年度に比べ良かった点として「自分に良いところがある…」の項目があげられます。年々数値が下がっていた項目でしたが、昨年度後期の結果に比べ、「よくできている」「大体できている」の項目を合わせて、低学年は88.2%から91%に、高学年は77.1%から83%に上がりました。自分の良さを認められることは、自分に自信をもつなどの自己肯定感の高さにつながると考えています。これは、昨年度までの結果をふまえ、道徳の学習や本校独自の「人権の木」などの取組が実を結んできたものと考えます。「いじめが起こらないように…」の項目でも、低学年89%、高学年79%とほぼ昨年度と同様に高い結果がでています。しかし、高学年については、「あまりできていない」と答えている児童も21%います。いじめは良くないと思っても、努力しているかと言われると自信をもてない児童もいるのではないかと思います。みんなが安心して過ごせる学校にするために、勇気をもっていじめにノーと言える子を育てていきたいと思ひます。「人の気持ちを考えて行動」の項目も「よくできている」で低学年7%、高学年7.5%上がっています。一方で、「友達を大切にし、誰とでも仲良く」の項目で「よくできている」に限れば、低学年5.9%、高学年8.6%下がっていました。「大体できている」を含めると昨年度と同様になるのですが、「誰とでも」に課題があると考えます。今回のアンケート結果では、総じて、自他を大切にできる児童が多い結果となり、保護者・地域の皆様のお力大きいものと感謝しています。今後とも子どもたちが豊かな心を持ち、心身ともにすこやかに育っていけますよう学校も努力して参ります。

【自由記述より】

○外で遊ぶ機会が減った。学校ではできるだけ思いきり身体を動かして友だちと楽しんでもらえたらうれしく思います。

○学校等でコロナ感染症や濃厚接触者が出たとき、プライバシー保護の必要性もわかるが、ある程度情報開示してほしい。変に口コミや不確かな情報が回ってきて不安をあおられる。

○コロナに対する紙が多く内容もいろいろ書きすぎと感じることもある。

○コロナ禍で様々なリスクが想定される中、よくしてくださっていると感謝しておりますが、行事や活動の中で形成される団結力や集団の力については達成度は低く感じます。南小単独では難しいかもしれませんが、オンラインと通常活動を併用したり工夫された小学校に期待します。

○コロナ対策等で大変な業務の中、日々あたたかく見守って下さりありがとうございます。

○友達同士でも暴言や暴力はいけないということ、傷ついた心のケアには時間がかかるということ、虚言はいけないということについて、強く指導していただきたい。

コロナに関することが多数でした。上記以外にも多くのご意見をいただきましたが、全て載せられず申し訳ございません。ご意見はすべて読ませていただいております。今後の教育活動に生かして参りたいと思ひます。貴重なご意見とご協力ありがとうございました。

【学校運営協議会よりご意見をいただきました】

- ・コロナ禍でもがんばろうという子どもの気持ちが強いと感じた。受け身でなく自分で考えて行動できる子にという時期にきているのでは。ピンチをチャンスに。
- ・友達関係を大切に。それが自分の人間性も高める
- ・伸び伸びできないことが多い。発散できる場があれば。
- ・学力面や家庭学習で保護者が学校に協力できることあればしていきたい。